

# 入善町 議会だより

## 3月定例議会

№. 65号

発行所 入善町議会

編集 入善町議会だより編集委員会  
富山県下新川郡入善町入膳3,255  
☎ 0765 (72) 1100

### ふるさと創生の音色響く

洗足学園大学客員教授、マックス・エッガー氏に  
よるベーゼンドルファー披露演奏会  
—4月29日、コスモホール—



# 一般会計は69億550万円

## 2学期から新校舎で——入善小学校

園家山に野外ステージ

1億6,000万円で西部保育所改築

入善中学校に夜間照明設置

駅前に2階建ての自転車置場建設

## フォーレストグローブ市と姉妹都市提携



水キラキラ 町いきいき 入善

# 平成元年 一般会計予算

# 69億550万円



三月定例議会は九日から二十日までの会期で開催され、提出された議案十六件、請願二件、陳情三件、議員提出議案一件、同意案一件について審議しました。  
このうち平成元年度一般会計予算は、前年度に比べて十四割増の六十九億五千五百五十万円となっております。中でも、勤労者野外活動施設や駅前自転車置場、舟見山自然公園整備費などが計上された商工費は二・三倍の大きな伸びとなっております。

依存財源 49%		自主財源 51%	
地方交付税 一五億七、五〇〇万円 23%	国、県の支出金 一一億六一八万円 16%	町債 三億一、四九〇万円 5%	町税 二五億一、七二〇万円 36%
地方譲与税ほか 三億五、六〇〇万円 5%		繰入金 四億八〇〇万円 6%	負担金 使用料 など 六億一、八三二万円 9%

- 請願・陳情の結果
- 入善十三区区内幹線道路及び生活道路の消雪装置設置についての請願 (採択)
  - 消費税廃止及び消費税実施に伴う公共料金等の引き上げに反対する請願 (不採択)
  - ◆ 平成元年度町道整備補装事業に関する陳情(野中地区)採択
  - ◆ 町道下上野園道線の舗装に関する陳情 (採択)
  - ◆ 町道入善高校グラウンド線までの側溝整備について (採択)

項目	金額	前年対比	伸率
国民健康保険	14億1,278万円	3.6%減	96.4%
老人保健医療	21億9,932万円	5.1%増	105.1%
簡易水道	2,270万円	8.3%増	108.3%
育英奨学資金	382万円	36.9%増	136.9%
分譲宅地	100万円	16.6%減	83.3%

# 西部保育所を改築

## 園家山には野外ステージ

### 非核平和都市の モニュメント設置

重点として、住みよい環境づくりをめざした積極的な予算編成となっている。

※平成元年度一般会計予算  
新総合計画に基づいて、三万町民がいよいよ暮らせる活力と誇りをおいに満ちた文化のまちづくりを進めるために、学校や保育所の建設、生活関連設備の充実を

なお、国際化時代の対応としてオレゴン州フォレストグローブ市と姉妹都市提携を行うことになり、五月十日に出発した調印使節団の派遣費用、昨年九月議会で決議を行った非核平和都市宣言のモニュメント設置などが特筆される。

### 主な投資事業

- ◆町単道路整備.....1億2,014万円
- ◆農村基盤総合整備.....1億1,801万円
- ◆入善小学校建設.....7億7,700万円
- ◆海岸保全施設整備.....1億7,256万円
- ◆中央通り線整備促進.....4,339万円
- ◆無雪害街づくり整備.....4,208万円
- ◆町民会館自主文化.....1,453万円
- ◆総合体育館用地取得.....4,242万円
- 〈新規事業〉
- ◇西部保育所改築.....1億6,109万円
- ◇漁港改修.....5,277万円
- ◇駅前自転車置場整備.....2,150万円
- ◇野外ステージ整備.....8,064万円
- ◇入中グランド夜間照明.....870万円
- ◇国際交流.....1,129万円
- ◇非核平和都市宣言  
モニュメント設置.....500万円

### 上町君島線に消費装置

※六十三年度一般会計補正予算  
補正額は一億六千六百八十八万五千円で、その財源は、地方交付税で七千二百十万円、国県支出金四千三百六十六万八千円、地方債四千七百六十万円、その他手数料寄附金などで二百五十一万七千円となっている。

歳出には、無雪害街づくり事業として、上町君島線九百五十以上の消費施設を整備する四千万円のほか、君島山寺線舗装工事費八百四十万円、町債の繰上げ償還金四千三百四十万円、町民会館コスモホールに備えつけるピアノ購入費一千二百八十万円などが計上されている。

### 住民税は減税に

※税制改革六法案の成立に伴い、町の税条例を改正するもので、個人住民税については、累進税率の緩和と控除額の引上げによって減税となる。また、消費税の創設に伴って、たばこ税については課税

方式の改正、電気税及び木材引取税は廃止となった。

### 医療費は減少傾向

※国民健康保険特別会計補正予算  
例年、一人当たり医療費は十割前後上昇しているため、六十三年度は九割増を見込んでいたが、実績では前年を下回りそうなるため、既定の予算から一億三千六十一万六千円を減額し、総額を十三億二千八百七十四万一千円とした。

※育英奨学資金特別会計補正予算  
山本正勝氏から教育奨励のため寄せられた百万円を、山本育英奨学基金に積立する。  
※職員給与に関する条例改正  
金融機関が週休二日制となったため、給与の支払い日が土曜日に当たるときは、その前日とするもの。

### 汲取り料二・二割アップ

※廃棄物の処理に関する条例改正  
消費税の創設と人件費の上昇に対応するため、し尿収集運搬手数料「二十円につき九十円」を「二十円につき九十二円」に改める。  
※保育所条例の一部改正  
年々児童数が減少しているため各保育所の収容定数を実情に合わせ改正する。

・東部保育所 百十人を百人に  
・小戸戸保育所 定数六十人のうち乳児を十二人とする

・横山保育所 七十人を六十人に  
※保険税条例の一部改正  
株式の売買益に対して所得税がかかることになったため、保険税の所得割算定の基礎にも加えられることになったもの。

※町道路線の認定  
春日公民館線など十三路線を町道として認定したほか、西入善駅道市線など四路線を廃止、二路線の範囲を変更した。

### F・グローブ市と 姉妹都市の提携

アメリカ合衆国オレゴン州フォレストグローブ市との友好親善を深め、経済、文化、教育等の交流を通じて両市町民の相互理解を図るため、姉妹都市提携を行うことを議決した。

なお、フォレストグローブ市議会では、昨年十二月に議決をしている。

### ※専決補正を不承認

平成元年二月十三日付けで専決処分された美術品購入指定寄附金八百万円に関する一般会計補正予算は、当局の議会軽視の姿勢に反省を求めため、不承認とした。  
※富山地方裁判所、富山家庭裁判所、魚津支部存続に関する意見書  
最高裁判所が発表した地方裁判所、家庭裁判所の支部廃止案では魚津市以東を管轄する魚津支部もその対象となっているため、この廃止案に強く反対し、関係機関に意見書を提出することにした。

# 積極予算を評価

## 大型建設事業がめじろ押し

自民党代表質問 本田 幸光 議員

3月14日・15日

町政を問う

一般

質問

壇

議員日名が

問

本町の新年度予算は一般会計で六十九億五千万円、前年度対比十四割の伸びで、国はもちろんだ方財政計画の八・六割、県予算の九・八割を大幅に上回り、積極性を評価するものであるが、この平成元年度予算の特色を伺う。  
また、六十三年度から着手した入善小学校の建設、二千年国体を控えての総合体育館の新設、その後の統合小学校建設など大型事業が多く予想されるが、今後の公債費比率の見通し、土地改良事業に対する債務負担についての考えはどうか。

### 健全財政を堅持

町長

本年度予算は数字の上では昨年度を大きく上回っているが、町や地方公共団体を取りまく財政環境は厳しいものがある。  
歳入については、税制改革に伴

う町民税の減税、電気税の廃止に伴う減収が大きく影響したが、幸い好景気による町税の自然増収がこれを補ってしてくれた。

一方、歳出面においては、義務的経費や消費税導入に伴う歳出増が見込まれ、予算編成に苦慮したが、三万町民が生きいきと暮らし心から愛せる活力のある町づくりのため、積極的な予算とした。

現在、町が持っている借入金残高は約四十五億円あり、債務負担行為は約十五億円になっている。計画財政、健全財政を堅持しながら町民の要望に応えていきたい。  
入善小学校は、平成元年度で校舎が完成し、九月の二学期から新しい校舎で学ばせ、平成二年度で講堂を作りたい。

二千年国体には何らかの種目を誘致したいので、総合体育館の建設は避けて通ることのできないものである。その後には舟見、野中あるいは横山、門山小学校の改築の問題がある。

### きめ細かな配慮を

問

町長は、当局と議会は車の両輪とよく言われておられるが、二期八年ともなると少々考えが変わってきたのではと感じる。

今日まで自民党議員会全員が当局に協力してきたつもりである。身体が大き、太った人は気づかないとか、心くばりがあると聞いている。

あなたは、やせることに一生懸命のようだが、やせた方が、きめ細かな配慮ができると考えているのか。

### 基本的な考えは変わらない

町長

議会と執行部とは車の両輪であるという基本的な考え方には変わりはない。しかし、いろいろと議会の皆さんから指摘を受けており、そういうものを厳しく受けとめ、常にそのような基本を尊重しながら、今後も努力していきたい。

### 税制改革の影響はどうか

問

今国会は最高の焦点である税制改革の問題に取り組んでいる。数々の問題が多くあると思うが本町としてのプラス面、マイナス面、財政への影響などはどうか。

### 簡素合理化で対応

町長

今回の消費税導入に伴う税制改革は、所得、消費、資産におけるバランスのとれた国民負担による税体系を構築するというのがその根本的な趣旨である。

所得税、住民税の減税によって個人住民税で約九千二百万円、法人町民税で約二千四百万円、電気税で一億四千八百万円など、町税全体として約二億六千六百万円がマイナスと見込んでいる。

地方交付税は消費税の導入により、一億二千五百万円の増額が見込まれ、消費課税は消費税の十一割の一、約九割が市町村に配分されることになっているので、推計すると合計二億三千百万円の増を見込まれ、差し引き三千五百万円の歳入不足である。

一方、歳出面では、消費税の三割が物品購入や工事請負費に課税されるので、影響額は約八千五百万円程度かと思われる。物件費については極力、簡素合理化に努め経費の節減に努力していきたい。

### 町にも大きな責任 中央通り線の改良

問

中央通り線は県の事業として着手できたことは、喜ばしいことである。

しかし、用地補償、代替地のあつせん確保は町にも責任があると

聞いている。交渉は駅前から順番にするのか。見直しはどうか。  
また、商店街の活性化、歩行者に対する思いやり、安全対策についてどう考えているか。

**駅前から上町線まで**

助役

駅前から上町線までの五百七十メートルの区間が事業認可になっている。区間のくい打ち、用地の測量、物件などの補償調査も進んでおり、一部買収も行っている。当初の計画どおり入善駅前から順次進め、平成元年度は一億一千六百万円の事業を予定している。

認可区間の地権者の中で、早急に建物の増改築や財産の処分などを考えている方には、買取りなどの対応も考えている。

中央通り線は市街地のシンボル道路で、二十一世紀に向けて道路の文化性、商業の活性化の面からも関係者の意見を十分取り入れ、緑花木の植樹、ポケットパークなども設け、魅力ある道路にしたい。

**個性のある政策を**

ふるさと創生一億円

問

ふるさと創生は、全国の市町村に一億円ずつ交付されることになった。その目的は、全国の市町村に個性のある政策づくりをさせ、長所を生かすことによって自信と誇りを持たせることである。  
新年度は、どのような計画を持っているか。

**大きく育つ事業に活用**

町長

ふるさと創生は、一年間だけの単発では、一つのきっかけにはなるが、地方自治体の財政構造を根本的に変えようか、矛盾を解決するには、それほど大きな意義がないかと思っている。

しかし、せつかくの一億円なので、趣旨を最大限に尊重し、町民の皆さんや役場職員にも呼びかけて、アイデアを募集している。

**消費税に反対**

**国民の大多数が疑問**

清新クラブ代表質問 本多 幸男 議員

国民の大多数が反対または疑問を持っている消費税が四月一日から実施される。

庶民生活等に重大な負担を押しつけることに、清新クラブは反対であり、あらゆる機会に廃止運動を強めていきたいと考えている。入善町は、町営住宅や町民会館などの使用料、各種手数料について、どのように対応する考えか。

**町営住宅は3%転嫁**

町長

消費税導入に伴って、いろんな混乱が起こると思うが、行政の責任者としては、国会で成立した

六十三年度交付の二千万円については、教育関係者から要望の強かったパソコンコンピュータを購入し、各小中学校へ配置し、残りでコスモホールにパーゼンドルフアーというピアノ一台を購入したい。

平成元年度に交付される八千万円の用途については、町が活性化するためには、町が活性化させるべきになるようなものや継続されて、まかれた種が芽を出し、大きな木に育っていくような事業を優先したい。

**ビール会社の進出を期待**

町長

アサヒビールは積雪地帯への進出が初めてのため、雪の状態を見てということだったが、暖冬で状況把握できず、過去三年間の気象データを提出した。また県へも道路の改良計画についての資料を提出してあり、それらを総合的に判断して決定されるものと思う。

サンエツ運輸は八号線沿いの上飯野地内で用地買収がまとまり、近く着工されると聞いている。

アインシン新和へは、福島の遊休地の有効活用を申し入れていますが、消費地近くでの生産の方向に変わってきており、独自の利用計画を検討中のようなのである。

**道路の整備が第一**

アサヒビールの北陸進出は三月

問 産業を発展させるためには道路網の整備が重要である。

十二月議会で主要幹線道路整備委員会を設置したいと述べられたが、具体的な構想は固まったのか。今後、用地交渉が一段と厳しくなると思うが、円滑に進めるための基本方針を持っているか。

**道路網の見直しが必要**

町長

町づくりの根幹をなすのは道路の整備であり、主要集落や駅、学校、公共施設、会社、事業所などを総合的にとらえる必要がある。

現在の幹線道路網は昭和五十五年に作成されたもので、現状と相当スレがきているため、これを見直す作業を進めねばならない。用地買収はなかなか難しい仕事であり、中央通り線を初めとしてまずまずこの仕事が必要なウエイトを占めてくると考えられるので、新年度では用地担当の係を設置することを検討している。

**國家山にレジャーランドを**

問

湖山のゴルフ場計画ほどの程度進んでいるのか。

國家山キャンプ場、野外ステーション、水公園、黒部川河口公園などの財産を有効に生かしながら、國家山一帯をリゾート開発する海浜レジャー地帯を検討してみてもど

うか。レジャーボートのターミナル、離岸堤を利用した白浜の復活海水浴場、宿泊施設など、ユニークなものができると思うがどうか。

**レク基地として開発**

町長 棚山観光開発では、地権者二百三十人のうち約八十割の同意を得たと聞いている。

ゴルフ場が完成すれば、舟見山自然公園、ふれあい温泉、友愛病院が計画している舟見リゾート健康施設と結びついた一大レクリエーション地帯が誕生するものと思われる。

園山キャンプ場は年間八千人に利用されており、新年度では、青少年ホームに隣接して野外ステージの建設を計画している。

レジャーボートの係留地を含め、海洋性レクリエーション基地としての開発を考えていきたい。

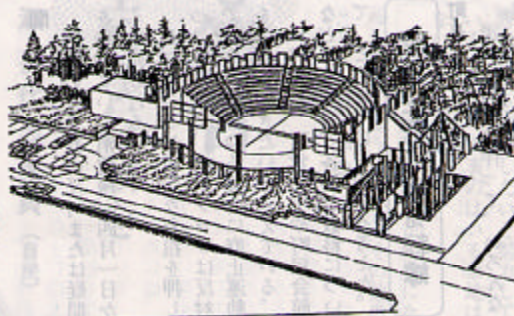
**職員給与は21番目**

問 新年度予算では人件費の数字が下がっているが、職員の志気をかきたてる労務行政も町長の重要な仕事である。

町長は、昨年の十二月議会で、佐藤議員の質問に答えて、三十五市町村の二十一番目となっている職員の給与を中位まで引上げたいと述べられているが、いつ、その作業にかかるとか。

四月一日付の人事異動によって

**国家山野外ステージ完成予想図**



**労働に見合う賃金を**

町長 職員の志気を高めるためには自分の労働に見合う程度の誇りある賃金が必要だと考えている。

等級のわたりの時についている男女間の格差の是正、勤労意欲の高い職員に対する特別昇給、永年勤続職員に対するポイント昇給などを計画的に行っていくれば、県下の中位以上に間もなくランクされるのではないかと思う。

**新規採用は7名**

総務課長 三月末の希望退職者が九名、試

験による新規採用予定が七名で、四月一日現在では、職員定数三百三十四名のうち実人数は三百二十二名となる。その他、長年にわたる定数外の職員として勤務してきた保母、調理師について、三月中旬に選考のうえ、若干名を正職員として採用したい。

**体育館建設は町民の願い**

問 総合体育館の建設は町民大多数の願いである。

今年度引き続き新年度も用地取得の予算が計上されているが、新年度はどのような体育館を建てるか、基本構想と設計図を作成するための先進施設調査に当たっていただきたい。

現在どのような構想を持っているのか。

**国体の会場にふさわしいものを**

スポーツ振興課長 総合体育館は、議会やスポーツ関係諸団体のコンセンサスを得ながら、二千年国体の種目誘致に対応できるように、バレーボールコート三面、サブ競技場、柔剣道場、トレーニング場を備えた近代的な

ものを考えている。

**好評のふれあい温泉**

問 舟見寿楽苑に業務委託しているデイサービス事業とふれあい温泉は、町民から大変喜ばれているが、現在の利用状況はどうなっているか。また、今後、町民の要望にどのように取り組んでいくのか。

**木曜日を休館日に**

福祉課長 デイサービス事業の利用登録者は八十三名で、週一回の入浴サービスを受けている。

ふれあい温泉は昨年一月の開館以来、二月末で予想の四倍以上も上回る十一万四千人が利用されており、寿楽苑への面会者もふえている。

今後より愛される施設になるように指導していきたい。

**文化の振興に力を**

**伝統文化の保存が大切**



問 文化は人がつくりあげるものであり、日常の生活と切り離して考えられない。地域に住む人々が自らの生活を高め、潤いを求める中から地域の特性ある文化が形づくられるものと思う。かつて生活の中でうたわれた田切り唄や田植え唄、獅子舞や太鼓、盆踊りなども姿を失いつつあるが、いまのうちに収録し、保存、育成することも大切ではないか。

伝統文化と現在町が力を入れていくクラシック等両立し、それ

**五十里 隆章 議員 (自民)**

それが対比され、認め合い、一体化して存在することが重要であると思うが、町長の考えを聞かせてほしい。

**一粒の種から大きな文化の花**

町長 文化とは耕して種をまいて、それを育てることが一つの文化だと考え、大きな花が咲くように思っている。

コスモホルルの機能にも二つの側面がある。一つは、国内外の優

秀な人たちによる演奏会や公演を開催し、文化を町に招来すること。もう一つは地元のみならず、文化に対する理解とレベルアップを図るための発表の場として利用することである。

地域の芸能文化育成も大切であり、生活に根差した先人からの遺産を永く伝承し、子々孫々まで伝えることが我々に課せられた一つの責務だと思ふ。

**補正不承認は警鐘**

今議会に提案された美術品購入指定寄付金に係る補正予算が承認されなかったことについては、寄付者に対してのものではなく、町長の姿勢に対する結果である。絵画購入に当たって、美術品管

理委員会に諮ることもなく、独断専行したこと、町が工事受注者である業者に寄付を求めたことに、危惧を持たれたものであり、将来正常な契約が損なわれることのないよう留意されたい。

職員の採用について二次募集があり、二月に採用決定があった。職員の採用は、退職者数や職員構成など男女比率も考慮して計画的に行うべきだと思ふが、町長はどのような考えか。

**誤解招かぬよう努力**

町長 前田常作さんの曼陀羅の絵の問題は、善意に基づく寄付行為と考えており、特に前田さんの絵と指定して寄付されたので、寄付者の意志を尊重した。

議案が承認されなかったことは不徳のいたすところであり、今後誤解を招くことのないよう一層努力をしたい。

職員採用は年次計画的な採用を実施することが基本である。今年一般事務三名、土木技術職一名の公募をしたが、土木技術職については、合格ラインに達していなかったため不合格とした。

その後、消防署に欠員ができ、また土木技術者も採用したいために、再度、広報で公募し、筆記試験、面接、体力テストを行って、上位から消防職員二名、土木職員一名を採用した。

**地下水の汚染が心配**

砂利採取の埋め戻し

建設工事用資材である砂や砂利の需要が多くなり、各地で陸揚りが行われている。埋め戻しの際に、産業廃棄物や始末に困った掘削土砂などが埋め戻しされると聞くと、調査されたことがあるか。

今後放置しておく土地盤の変化や地下水の汚染、変質が心配になるが、行政としてどんな見解をもっているか。

下水道対策は長年の懸案事項であり、特に入善地区のアンケート調査では第三位と高い要望であるが、意欲のほどを伺いたい。

**十分監視する**

町長

砂利採取法に基づき、認可の権限は県知事にある。農地法との絡みで町の農業委員会が審査しており、砂利を取る場合の転用期間は一年以内とか、農地に復元するときの条件も定められているので、許可の内容に合致したもので埋め戻しされていると考えている。

町民の健康に係わる問題なので県と連絡を取りながら、十分監視しなければならぬと思っている。下水道は極めて大切な仕事であるが、他に先行してやらなければならぬ事業もメジロ押しであるため、他の事業との兼ね合いも十分考慮しながら、平成二年度から始まる十年間ぐらいの計画の中で、明らかにしていかなければならぬと思っている。

**将来を展望した  
道路整備計画を**

町長

八号線の拡幅が計画されているが、町独自の計画や方針もなく、将来、バイパスをどこへ通過させるのか、また現道拡幅をすべきかなど、基本的な調査研究もなされていない。現況の道路を有効に活用し、将来を展望した計画づくりに取り組む必要があるのではないかと。

高速道路のインターチェンジ設置を早急に決定すべきと思うが、町長の考えを聞きたい。

**8号線バイパスは  
なおざりにしていない**

町長

国鉄払い下げ用地には十年間の用途指定があり、現在用途指定どおり自転車置場、駐車場に使われている。議員からの数度にわたる質問の中で、近々中に用途指定を解除できるということであったが、今だに解決されていない。中央通り線事業の進捗状況からみても、今年度中に解決しなければならぬが、どのような見通しかを聞きたい。

八号線バイパスは、事業主体が建設省であり、建設省サイドが先行する形で事業計画が練られている。常に建設省と連絡をとりながら考えており、決してなおざりにしていない。

高速道路インターチェンジについては、委員会が先進地視察をされた調査などを十分受けとめながらインターチェンジの問題に対処していきたい。

助役

昭和六十年度に払い下げを受けた国鉄用地は、都市計画事業の代替地、公園、駐輪場、駐車場と、それぞれ面積が割り振りされており、全体では三千四百二十三平方メートル、都市計画事業に一千平方メートルとなっている。十年間は使用目的や権利の変更がでない期間であるので、割り振りのとおり使用したいと考えている。



▶水田を掘って砂利採取（新屋地内）

水田を掘って砂利採取（新屋地内）

# 高齢者に生きがいを 豊かな経験を社会に

広瀬 義孝 議員 (自民)

**問** 人口の高齢化が進み、入善町でも高齢人口の割合は十六割に達しており、この福祉対策は重要な課題となつてきている。

高齢者の熟成された知恵と豊かな経験を社会に生かすことが新しい社会形成に不可欠であり、老後の生きがいにもつながるものと思ふ。

最近、年金受給年齢の引上げが叫ばれているが、これに伴う雇用対策をどのように考えているか。また、生涯学習の中で健康教育をどのように進めていくのか。積極的に社会参加を進める方策をどう考えているか。

**町長** 高齢者対策の基本的な考え方は生活の安定と健康、生きがいの問題だと言われている。

長い社会経験に裏打ちされた知識や技能を活用して、世の中のために役立つことが生きがいになり、それが生活の安定にも深く係わることと思うので、高齢者の社会参加を進めるためのシルバースキが教室の開設や異世代間交流の推進、シルバースタッフの創設などを考えていかねばならない。

**町長** 社会のために長い間尽くしてこられた高齢者のみなさんが、生きていて良かったという実感がわき起こるような社会づくりが最終的な目標でないかと思うので、その実現に努力したい。

**隣接町にも配慮を**  
ふるさと創生事業

**問** ふるさと創生について、今年はずいぶん残りの八千万円について、町民のみなさんの要望を聞き、議会の意見も聞きながら対応したいことだが、隣接町村の状況も見ながら、執行に当たっては十分な配慮をしていただきたい。

**ふるさと見直しに効果**

**町長** 自分の生まれたふるさとを愛し、

みんなが力を合わせて住みよくなることを心がけることが、行政をあらゆる者にとっても、議員のみなさんや町民のみなさんにとっても共通の願いであると思う。

この一億円は、我々にふるさとをもう一回見直そうでないかとい

## 疑問残る絵画の購入 専決処分は独断専行

九里 郁子 議員 (共産)

**問** 前田常作氏の絵画購入資金として八百万円の負担つき寄付がなされたが、まず寄付を受け付けるかどうかの議案、次に、それが可決されれば予算に計上する議案を議会に提出するのが議会制民主主義である。これを専決処分としたのは町長の独断専行である。

議会の承認を得る前に町民会館に展示してあるが、なぜ、このようにしてまで急いだのか。

また、寄付の問題と職員の採用が、時期的に、あまりにも一致しているのに疑問を感じる。

**寄付には3種類**

**企画財政課長** 寄付には一般寄付、指定寄付、負担つき寄付の三種類がある。負担つき寄付とは、図書館を建てることを条件に敷地を寄付するので、建設できないときは寄付が解除になるといふような、町の財政負担が義務づけられるものを指しており、議会の議決が必要。一般寄付と指定寄付は議決がいらないことになっている。

う、きっかけを与えたという意味で大きな効果があったと思う。

広報などを通じて広くアイデアを募集しているの、これらも参考にしながら、どのような形で取り上げていけばよいか、充分に検討したい。

**町民に不安と怒り**  
住宅家賃の転嫁反対

**問** 消費税の導入によって町財政に大きな圧迫となり、町民生活にも混乱と諸物価の値上げなどの大きな影響が出ている。

悪法も法、守らねばならないと、議会の意向を見てと言っておられるが、消費税は廃止すべきという考えに立つ意思はないか。

町営住宅家賃への三割上乗せは総額で九十五万円であり、町の努力でカバーできると思うので、転嫁を止めるべきだと思ふがどうか。

**法を守るのが行政**

**町長** 消費税は国全体の税制の流れの中で、これを受け止めることが必要だと思ふ。国会で決まったことは、それを守っていくのが行政を預かっている者の立場である。

町営住宅家賃は規則で定められており、議会の意見を聞いた上で対応したい。

**全面撤回運動を**  
国庫補助負担率のカット

**問** 国庫補助負担率一律カットの大



部分が恒久化または延長になり、入善町においても、公共事業で約二千五百万円、生活関連で約二千三百万円の影響を受けている。

自治省や地方六団体の幹部は、生活保護費を十分の七・五に還元したこと、財源措置として国のたばこ税の二十五割を地方交付税に繰入れたことを合格点として、撤回運動に終止符を打たせようとしている。

引き続き、全面撤回運動が必要だと思いが、町長の考えを聞きたい。

**機会あることに**

**復元を要求**

町長

国庫補助負担率を元に戻すことに努力していないと認識されているようだが、全国町村会、県の町村会を通じて、機会あることに復活してくれるように要求をしている。

今後とも一層の努力をしたい。

**ガラス温室に課税**

問

昭和四十九年、町の指導で、ハウス園芸をしている三人の青年がガラス温室組合を結成し、県三分の一、町三分の補助を受けて農業用ガラス温室三棟を建設した。

この温室には固定資産税が課税されているが、その根拠は何か。全国や県下の実態はどうか。

**家屋と認定**

税務課長

農業用ガラス温室は、コンクリートの基礎があり、外壁及び屋根が総ガラス張り、反永久的な資材で構築されておれば家屋と認定すべきであるとの通達がある。自治省から出されており、固定資産税を課税しなければならぬ。

県下全市町村で、この通達に基づいて課税している。

**払える国保税に**

問

入善町の国保税は、全国トップクラスと言われている富山県の平均よりも二千七百円高く、全国平均に比べると実に二万円も高くなっている。

所得の大小にかかわらず均等割平等割がかかり、年取の十割以上も課税されていることが滞納を生み出す要因の一つとなっている。払える国保税にするためには、国庫負担率を元の四十五割に戻すよう国に働きかけること、県に対して市町村への助成を一人当たり全国平均の約九百円に引上げるよう要求すること、税率を抑えると共に限度額を引上げないことが必要である。

**法律守らねば**

**ペナルティ**

町長

最高限度額を四十二万円に引上げる地方税法改正案が年度末に成

立公布されるものと思う。

町が引上げを見送ると、国保会計の経営に努力していないと見なされ、ペナルティとして、今年度は三千万円交付された特別調整交付金が減額されることになるので、国保会計にとって、かえってマイナスとなる。

国の制度や法律が変われば、末端の市町村は、それを受けて守っていくかなければならない。

**「農業のまち」宣言を**

問

農産物の輸入自由化要求は、いよいよ米に焦点を当ててきているが、食糧の自給は国の主権を守る上でも重要な問題であり、米の輸入自由化反対を町の農政の基本にしっかりと打ち立てるべきである。

農業は、水と緑と文化、人間を守り、育ててきた。健康と食糧を豊かに供給してくれる農業を守るために「農業のまち入善」を宣言する考えがないか。

**特に必要はない**

町長

農業は入善町の基幹産業である。常に宣言をし、認識しながら予算編成を行っており、農業団体とも連絡協議しながら農政の問題と取り組んでいる。

今、特に、形式的に農業のまちを宣言をする必要はないのではないかと考える。

議会で議決されることについては異論はない。

**排水専用路の設置を**

**公害の発生が心配**

松沢孝衛議員（自民）

問

メッキ工場の進出問題は、その後どうなっているか。

工場進出によって、大なり小なり、公害が発生すると思うが、この公害を防ぐための下水道計画や排水専用路を総合計画に組み入れる考えはないか。

町長

下水道計画には大きな予算と年月がかかると思うので、平成三年度からの総合計画に盛り込まねばならないと思っている。

**上原・青木共に反対**

**メッキ工場の進出**

商工水産課長

富山メッキの進出に対して、上原地区は現地見学を行ったが、青木地区は現地見学も反対している。

下流に農地があるため、入善米の生産に影響があるのでないか、あるいは地下水への影響を考えると不安が多いので賛成できないという話である。

現在、地下水や農業用水への影響がない方法で理解してもらえないように両地区へお願いしている。

**合併処理槽に期待**

問

平成元年度予算では、新規事業として合併処理浄化槽施設費が計上されている。

この浄化槽の普及が進めば、水環境も大変良くなると思うが、何台分ほど予定されているのか。また、地域別の指定があるのか。

**5基分を予算化**

環境保健課長

合併処理槽は下水道の終末処理場並みの処理能力があると言われており、新年度から、町内全域の住宅、旅館、飲食店、喫茶店などを対象として、町単独で補助制度を創設したい。

単独浄化槽と合併浄化槽との設置費の差額の三分の一を補助することを考えており、五基分を予算化している。

**職員採用に疑問**

問

今年一月に今年度二回目の職員採用試験が行われ、採用通知され

たが、その経緯について疑問を持つ町民が多い。  
また、補欠採用一名の通知がされているが、欠員がなかった場合はどうなるのか。

優秀な人材確保に努力

町長

職員採用は公募で行っており、採用試験では、慎重に公正に、優秀な職員を確保したいと努力している。私心、情実のはいる余地はない。  
補欠は、採用予定者が欠員になつたときに補うもので、その他のことは考えていない。

# 巨岩にも節目 公平で民主的な行政を

広瀬喜代志議員(自民)

問

先日「町長日記」の出版記念パーティーが行われ、町長の人間性の豊かさを、しみじみと味わうことができました。

公平無私、民主的な行政が行われるのが当然であり、常に自分に対する問いかけと、疑問を持つ姿勢が必要であると町長は述べられている。

いかなる巨岩にも必ず節目があるとされているが、町長の現在の信念を聞きたい。

何かを始める一人に

町長

人生長い間には、新しい、いろんなことがあるのは当然である。人生を歩く一つの基本的な考え

方として、世の中は一人では何もできないが、何かを始める一人になりたいと、私自身そう考えている。  
町長になり二期目になるが、初心忘れることなく、町民奉仕のため精いっぱい努力したい。

絵画購入に片寄り

問

文化の町づくりのため、絵画の購入に力を入れられ、特に郷土作家前田先生の作品が九十五点もあると聞いている。「曼陀羅」に対しての感想を聞きたい。

また、今回新しく採用した職員をどのように教育し、どのような活躍を期待しているか。

郷土作家を支援

町長

前田先生の作品は、現在も将来にわたっても、町の貴重な財産である。曼陀羅作家としての評価を受けられている先生の作品を、地元民が理解支援する姿勢が必要と思っている。

新しく採用した職員に対しては、自らの教養や人間性を高め、全体の奉仕者として町民の信頼に応え、先見性をもった職員になるよう教育したい。

文化の香りがぶんぶん

問

今度購入されるベーゼンドルファーは、弾けない曲が世界に二曲しかないと聞いている。そのような貴重なピアノを備えることによつて、町民会館はますます文化の香りがぶんぶんするものになると思うが、音楽文化に対する教育長の考えを聞きたい。また、本町のピアノ人口はどのくらいか。

みんながあこがれる  
まぼろしのピアノ

教育長

ベーゼンドルファーは、普通鍵盤が八十八鍵あるのに対し九十七鍵であり、倍音効果に優れている。また、手づくりのため、中音から高音へのつなぎの異質感がないのが魅力で、だれでもがあこがれる幻のピアノと言われている。  
音楽人口は大人、子供たちを含め、数百人はおられると思う。

杉沢破壊は  
大きな損失

問

地球の平均気温は二、三十年に現在より一・五度から三・五度も上昇すると予測されている。

その主なる原因は、炭酸ガス、フロン、メタンガスなどの日常生活と関係深いガスによるものとされている。フロンガス全廃への動きもマスコミで取り上げられているが、どう考えているか。

また、緑の植物は有機物をつくる地球上で唯一のものであるが、その緑を育てるために、町の緑化推進をどう考えているか。

街路には広葉樹

町長

緑の創生のために、町は公園都市宣言をして公園の整備、緑化に努力している。  
町には山林が非常に少ないが、舟見山が森林浴の森の指定を受けたのを機会に整備を進めたい。

最近、動植物と植生とが共存共栄できるようなという観点から、広葉樹林が注目を受けてきており運動公園や中央通り線など、街路樹に広葉樹を植えることも考えていきたい。

環境保健課長

先進国は豊かな社会を維持するため膨大な資源やエネルギーを消費し、大気や水などを汚染しているのが現状である。

日常生活で使用している各種のスプレー、冷蔵庫、クーラーなども、地球の環境汚染に深く影響しており、生活様式の見直し、環境保全の努力が必要で、情報の収集調査を強化していきたい。

生活基盤の整備を

問

町長は、町民の中に文化を醸成され、定着されつつあることは高く評価したい。

今後は、生活基盤の整備、地盤沈下の激しい商業の育成、多くの問題を抱えた農業、漁業の振興のために、文化行政に発揮された卓越した手腕を奮ってもらいたい。

物から心の時代へ

町長

社会資本の充実や町民生活の基盤である環境の整備は、ゆるがせにできない問題であり、財源の許す限り、予算づけに努力している。大きな流れからすれば、心豊かな文化的な生活を営むことが町民の大きな願望でないかと思う。多様化する町民のニーズに応えながら、物から心へ、ハードからソフトへという流れも見極めながら、行政対応していきたい。

# 有機米栽培で

## イメージアップ

白又正司議員(自民)

日本農業は、大きな変動と改革のうねりの中にあり、農業者自身の自助努力で展望を切り開くしかなく、生産者と消費者と手を結ぶしか方法がないと言っても過言ではない。民間流通の時代を迎え、行政の指導で生産者、消費者の今後の取り組み方の研究をする必要があるかどうかを聞きたい。

町の産米アビール、イメーリアップを図る意味から有機米栽培に取り組む姿勢があるか。ふるさとを味をかみしめるための米をつくる有機米栽培に、ふるさと創生の交付金をあててほしい。

### 創意と工夫が大切

町長

農業経営には、地形や歴史に見合った経営のあり方があると思うので、先進地視察などをしながら、町に合った農業形態を考えるための創意と工夫をしなければならぬ。

有機米は農薬を使わず、有機質

肥料と生命の根源である、いい水で栽培するので、いい面が多分にあると思うが、病虫害に強いという弱点もある。

農協も元年度より試験的に取り組むと聞いているので、連絡を密にしながら、おいしい米、収量が取れて作りやすいことを前提にして検討したい。

### 若者に魅力ある町に

町長

農業や漁業の後継者は、ますます減少の道をたどっており、若者が少なくなっている。

後継者育成対策として、若者たちの集まりやすい場を考案、工夫してはどうか。

長い海岸、うねりのある海や水キラキラの黒部川を活用して、舟こぎ大会やいかだ下り競争など、思い切った遊びなどはどうか。町長の意見を聞かせてほしい。

### 地引網で子供に夢

町長

各地区にそれぞれ公民館、農業センターなどがあって、集まる場所は充足されていると思う。

若者の中でどのようにリーダーを養成し、後継者づくりに結びつけていくかが難しいが、生涯学習体制の中で考えていくことが必要でないかと考えている。

海岸線を中心にした開発行為については、担当課で案を持っていくようであり、これから検討したい。また海岸を利用するには、漁業権の問題もあるので、漁業関係者とも十分相談しながら、子供たちに夢を持たせるような、地引網や提案された遊びを十分検討したい。

### インター設置に調査費を

町長

高速インター設置構想に前向きに取り組むことが、ビール会社の心を動かすことになると思うが、インター設置の情報や調査費の予算化の考えはないか。

高速インターチェンジ設置については、機会あるごとに情報を収集していきたい。元年度予算に調査費を計上するのは、まだ必要がないかと思っている。成否は別にして調査研究を前向きに取り組んでいきたい。

## 総務委員会

# 45の屋外スピーカー

## 愛知県幸田町の防災無線

副委員長 広瀬 喜代志

二月十四日から十五日まで、愛知県幸田町の防災無線と一色町の職員研修について視察を行った。

幸田町は、名古屋市から四十五分圏内にあり、人口二万八千人、総面積五十五・七平方キロ、広田川を中心に広がる緑豊かな自然に恵まれた町である。

防災行政無線は本町と同じく、消防防災無線通信施設整備事業の補助を受けて、昭和六十一年二月に開局している。移動系無線は本町と大差はないものの、同報系は屋外拡声受信局数、本町は十四局に対し、四十五局が設置されており、町全体の六十五から七十割をカバーしているところが大きく異なる点である。

### カーネーション栽培

日本一を誇る一色町

一色町は、名古屋から四十分圏域で、矢作川のデルタ地帯にあり、全町の八十割が海抜ゼロ以下である。のり養殖、うなぎ養殖、海産物加工、漁網製造等が盛んな一方、カーネーションの施設園芸では日本一を誇っている。

### 戸別受信の方向へ

冬期間は戸を締め切ることが多く、聞こえない、聞こえにくいという問題点があって、これを解決するには、増局や音声ボリュームを上げるといった手段もあるが、夜間勤務し、昼間就寝する人も多いため、苦情があり、屋外拡声受信局の設置、増局について一考を促すものである。

### ゴミ収集の体験研修

新規採用職員研修では、二十日

文教厚生委員会

市民のふれあいの場に  
華麗で堂々たる金沢市体育館

副委員長 五十里 隆 章

二月八日、九日の二日間、石川県内の体育館を視察し、付属施設、機能、管理運営などについて調査研究を行った。

まず、インターハイバレーボールや国内競技大会、国際交流試合等の実績を持つ、金沢市総合体育館を訪ねた。

鉄骨鉄筋三層建、総工費三十一億円を投入した規模、設備ともに本格的な体育施設で、身障者に対しても充分配慮されており、金沢市の町づくりの意気込みを感じさせられた。

都金沢によく似合う華麗で堂々たるものではあるが、市街地化が進み、敷地が狭く、全景を見ることができない場所に建設されているのが残念であった。また体育館としてよりも、いこいの場、ふれあいの場としての機能が強く配慮

間程度をかけて、各課を一日ずつ回る一般事務研修や、ゴミ収集車に同乗して実際にゴミ収集をしたリ、消防職員と一緒に活動する体験研修があり、本町と大きく異なるところである。

役場機構は、できるだけ係を細分化し、多様化する住民ニーズに対応するとともに、職員が働きやすい、働きに生きがいを持つ職場環境づくりを図っている。研修の必要性は言うまでもないが、こうした環境づくりもまた必要であるように思う。

されておられ、ぜひたく過さるようにも思われた。

ゆとりのある環境

なじみ易い施設の小松市

次に訪ねた小松市総合体育館は、広々とゆとりのある環境にあり、総工費十億一千五百万円、なじみ易い設備と機能、外観の建物である。設備上の問題点として、湿度の高い日には通路や階段に結露があること、ランニング走路のコーナラーが走りにくい、二階観覧席に設けた貴賓席の視野に難がある、採光に配慮したつもりが、西日がはいって困っていることなどが指摘された。

両市とも財団法人を設立して、すべての体育施設の管理運営を委託しており、市民が利用しやすい

ようにをモットーとした運営に配慮されていた。

運動公園が最適

入善町が建設予定地として運動公園隣接地が最適地であることが再認識された。

将来のことを考え、余裕ある用地を確保し、華美に過ぎる必要はないが、メインとなる体育館はより大きいもの、サブ体育館、トレーニング室、観覧席千五百席以上の実用的な施設が必要と思われる。国体誘致や国内で行われる大会誘致ができる施設を建設するため、当局の思い切った姿勢を期待したい。

すばらしい民間のドーム

福路、高岡市にある加越能鉄道のスポーツドームを見学させてもらった。民間が事業として取り組んでいる実情を見て、今求められているスポーツ施設のあり方、健康産業としてのカリキュラム等の説明を受けた。エアロビクス、水泳、ウエイトトレーニング、テニスを中心に、サウナ、マッサージ、風呂を備え、専門インストラクターを配し、リラククス、リフレッシュを目的にした個人指導がなされている。

人々の健康への関心がここまで来たかという思いがした反面、行政にも町民の健康管理を考えれば、このようなことが要求される日もそう遠くないのかとも感じ、何んとも言い難い思いであった。

産業建設委員会

インター設置が課題

副委員長 本多 幸 男

狭い間隔でも可能

昨年七月、北陸高速自動車道が全線開通した。隣接の黒部市と朝日町には各々インターチェンジがあり、地域の活性化を生み出す要件が備わっている。我が入善町は神林地内のパーキングエリアに留まっており、なんとしてもミニバイパスを含めたインターゾーンの設置を強く働きかけてゆくことが重要課題である。当委員会は改めてこの問題を取り上げた。

インター間の建設制限距離は特に基準がないとしながらも、主要都市群や工業地域を考慮に入れ、四時から三十分間隔で決定されるということである。今回の研修では、

名神高速を補完する

京滋バイパス

二月二十一日、委員六名、永原議会事務局長、木本建設課長の一行八名は日本道路公団大阪管理局京滋バイパス管理事務所を往訪した。

- (一) 狭い間隔でもその地域の産業活性化と道路網整備の必要性に及び、当該市町の熟慮しだいで実現は不可能ではない。
- (二) 入善町の場合、一般論として用地費は安い自動料金支払機や維持管理費が将来的に懸念され、研究の余地があること。
- (三) 福井県鯖江市のインターは陳情視察のうえ、金沢管理局への陳情行動が重要であること。

攻めの姿勢が大切

黒部、朝日インターがあるから我が町が難しいとの受け身ではなく、なぜ、入善町だけが当初計画時に取り残されたのか、その後の運動の弱さをも反省しつつ、攻めの姿勢こそ大切と胸に刻み、事務所を後にした。

# 常任委員会 審査報告



## 町税の増収を期待

財産運営に注意

昭和六十二年度一般会計補正予算、平成元年度分譲地特別会計予算、職員の給与に関する条例の一部改正、税条例の一部改正、国民健康保険税条例の一部改正の議案五件は全員一致、平成元年度一般会計中当委員会付託部分及び姉妹都市の提携についての議案二件は、賛成多数で可決すべきものと決定した。

平成元年度予算の総額は六十九億五千五百五十万円で、対前年比十四億増となっており、非常に積極的な予算であると評価する。

消費税法など税制改革六法案の成立によって、町民税の減税九千

二百万円、電気税の廃止による減収一億四千八百万円などが収入減となり、消費増進税の創設や地方交付税が増額されても、まだ不足の状況にあったが、景気回復に伴う町民税の自然増や固定資産税の増収見込みによって、カバーすることができたことは喜ばしいことである。

しかし一方では、財政調整基金からの繰入金一億一千三百万円の増や、町債で一億五千六百万円の増額となっており、将来の財政運営に負担がかかることになるので充分な注意が必要である。

なお、六十二年度までの暫定措置となっていた、公共事業や保育所などに対する国庫補助率引下げが引き続き実施されたことも非常に残念なことであり、昭和五十九年当時の元に戻すよう、国に対して積極的な運動を行われるよう要望する。

## 積極的な取組みを

国際化時代への対応

歳出予算の中では、昨年九月議会で決議を行った非核平和都市宣言のモニメント設置費や、二十一世紀を展望した総合計画策定のための準備費用、国際化時代に向けての姉妹都市提携に関する予算計上などが目新しく感じられた。国際化の進展が著しい今日、広い視野を持った人材の養成は、入善町の将来の発展につながる大きな要素であると考えられるので、この種の事業には、なお一層の積

極的な取組みを期待している。

## 消費税廃止の請願は不採択

請願第二号の消費税廃止及び消費税実施に伴う公共料金等の引上げに反対する請願については、現実問題として法律が成立して公布され、四月一日の施行が目前に迫っている状況にあるので、法律を守る立場で請願を不採択とすべきものと決定した。

この消費税が悪税であるのか、それとも国民にとって良税となるのか、将来歴史をふり返って見る中から評価が生まれてくるものと思われる。



## 当局に厳重注意

ピアノ購入で紛糾

当委員会に付託された昭和六十二年一般会計補正予算は賛成多数、その他の議案九件は全員一致で可決すべきものと決定した。

町長から、ふるさと創生一億円のうち、昭和六十二年度分の補正予算に計上した二千万円の使い道として、ピアノ、パーゼンドルファを運定した経緯についての説明を聞いた。

ルファの購入については、各委員とも異論はなかったが、問題は町民本位の町政ということとを旗印にしておりながら、町民の皆さんから募集した意見に充分な検討も加えず、議会に対する説明の前に新聞、テレビ等に発表し、既成事実のように先行させる方法をとったところにある。また、購入価格も十五日の物品税が廃止になるため、四月以降に購入すれば安くできるのでないかということも指摘された。

このようなことから、事務の進め方については厳重注意を行い、価格については、再交渉するよう申し入れし、採決の結果、賛成多数で補正予算を可決すべきものと決定した。

## 拡充してほしい

日帰り人間ドック

平成元年度一般会計予算のうち当委員会付託部分は前年に比べて六億四千三百万円、二十八・一増の二十九億三千万円が計上され、全予算の四十二・五割も占めている。新規事業も多く、老人福祉や弱者対策、健康管理、学校、スポーツに大きな前進があったと全委員から高い評価をされた。

日帰り人間ドックは非常に好評で、毎年千五百人分の委託料が計上されているが、農協滑川病院に限定されているため、これ以上人数をふやせないという問題がある。他の病院でも受け入れてもらえないのか、町民のみならず少しい

も喜んでもらえる方向で努力してほしい。

## 平成元年を

きれいな水元年に

おいしい水、地下水に関連して、陸掘りの埋め戻しが話題にのぼったが、県の管轄であると逃げを打つようでは、本当に町民のくらしを守る行政に努力をしているのかと疑いたくもなる。町民の声を傾け、対処する姿勢を示してほしい。

## 平成二年度に基本設計

総合体育館の建設

総合体育館用地を新年度四千四百万円、六十二年五千万円で取得し、平成二年度には基本設計にはいりたいということである。

二千年国体の会場として活用できる立派なものを計画され、競技種目の誘致にも力を入れていただきたい。また、運動公園をはじめとする各種体育施設を含めて、総合体育館の管理運営について、今から検討を進めておくべきであろう。国民健康保険特別会計は、医療費の増減によって大きな変動を受ける会計であるが、平成元年度は医療費が落ち着いた感があるというところで、給付費が減額になっていることは喜ばしいことである



一方、老人保健医療特別会計予算は、毎年二億円程度増額になっており、医療費の精算払いとはいえず、その分、住民負担の増となってくるので、できるだけの配慮をお願いしたい。

### 年度末の工事に万全を

全案件に賛成  
当委員会に審査付託された議案三件、請願一件、陳情二件はいずれも全員一致で可決、採択すべきものと決定した。  
昭和六十三年度一般会計補正予

### 大きい商工費の伸び

#### 勤労者対策と観光開発

平成元年度予算の大きな特徴の一つは、商工費の一億五千万円にのぼる増額である。園家山に建設予定の野外ステージ整備費八千万円、駅前駐輪場建設費担金二千五百万円、舟見山自然公園取付道路の整備費三千六百万円など、今まで、あまり目を向けられてい

### 道路の整備に

#### あと五千万円追加を

町単の道路改良費として一億二千万円が計上され、前年度より四千万円の増額になっていることは評価するが、道路の整備は全町民の最大の願いであり、あと五千万円、六月補正で計上されるように

### 町営住宅家賃を引上げ

四月からの消費税導入に関連して、町営住宅入居者家賃の規則が改正される。それによると、現在の家賃に消費税の三分を転嫁し、端数を切り捨て、東町、上原、舟見の住宅は月額百円、新町山住宅は月額三百円、駅南団地は七百円の引上げを行い、年間総額九十五万円の入増となる。

規則改正は委員会の審議事項ではないが、収入増分は要望の出ている屋根ガワラの修繕など、住宅入居者に還元するという姿勢で対処するように要望した。

### 編集 後記

5月10日、米国フォーレストグローブ市に向けて姉妹都市調印使節団が発立しました。使節団は総勢三十五名、各種団体の代表と共に議員も九名参加しています。この議会だよりが届く頃は、皆さんの好意で寄せられた鯉のぼりが、アメリカの空高く泳いでいることでしょう。  
この調印によって教育、文化、経済の交流が図られ、両市町民の友好親善が深まることを期待しております。

- 議会だより編集委員
- 石川 昭男 白又 正司
  - 池原 金与志 本田 幸光
  - 広瀬 義孝 佐藤 学英
  - 板川 清治 九里 郁子

# 議会

## 日誌

2月

8日 文教厚生常任委員会研修視察  
9日 祭 (石川県)

- 12日 青年議会
- 13日 下新川三町議会議員協議会
- 14日 総務常任委員会研修視察 (朝日町)
- 15日 新川広域営農団地農道整備事業の促進に係る陳情 (愛知郡)
- 16日 黒東合口用水組合議会 (東京都)
- 17日 産業建設常任委員会研修視察 (滋賀県)
- 20日 黒部川扇状地研究所、地域社会賞受賞記念祝賀会
- 21日 議員全員協議会
- 25日 議員全員協議会
- 27日 議員全員協議会

- ### 3月
- 1日 町営黒部川沿岸農業水利事業促進協議会 (宇奈月町)
  - 2日 P.T.A.広報紙コンクール審査会
  - 2日 議会運営委員会
  - 3日 県議長会総会 (富山市)
  - 5日 黒東交通安全協会総会
  - 9日 議員全員協議会
  - 10日 第二十三回議定会例会 (提案理由説明)
  - 10日 屋内ゲートボール場竣工式

- 10日 議会運営委員会
- 13日 議定会例会 (一般質問)
- 14日 議定会例会 (一般質問、質疑、委員会付託)
- 15日 総務常任委員会
- 16日 文教厚生常任委員会
- 17日 産業建設常任委員会
- 20日 議定会例会 (各委員長報告、質疑、討論、採決)
- 23日 春の消防訓練
- 24日 第二十四回議会臨時会
- 26日 連合婦人会総会
- 28日 湧水公園開苑式
- 30日 黒東合口用水組合議会

- ### 4月
- 8日 農協合併二十周年記念式典
  - 11日 町土地改良連絡協議会総会
  - 12日 黒部川水利対策特別委員会
  - 西島栄作氏・県議会副議長就任祝賀会
  - 21日 中央官庁関係者懇談会
  - 27日 建設省陳情 (東京都)
  - 能本泉清利村議会視察来町
- ### 5月
- 8日 議会だより編集委員会